

# ミニゲーム寄せ集めごった煮プロジェクトProjectSilver<sup>1</sup>の世界

一年n科<sup>2</sup>刻<sup>とぎのとがびと</sup>の咎人(ChronoCulprit) < togabito@aaa.jspeed.jp >

## 前説

この文章は、刻の咎人によるゲーム作品...いや、刻の咎人の謀略(違)により電気通信大学 X680x0 同好会の幾人かによってくみ上げられたゲーム作品、ProjectSilver について記したものである。執筆者が色々といっぱいいっぱいであるため、そこはかとなく読みにくい文章となっている可能性がこの上なく高いことを事前にご了承いただきたい。そういうことはこの文章を読む前に教えてほしいという諸兄もおられるであろうが、無理です。諦めてください。残念、~~一切腹~~!

## おーるあばうとぶろじえくとしるばー

ProjectSilver は、いわゆるミニゲーム集である。

全体の企画は刻の咎人によって進められたが、各ミニゲームは X680x0 同好会の複数のメンバーによって個別に作られている。

プレイヤーは各ミニゲームを呼び出すためのランチャープログラムを操作することで、ミニゲームを起動し遊ぶことができる。また、ミニゲームが終了すればまたランチャープログラムに戻るというスタイルになっている。

ProjectSilver では各ミニゲームにいくつかの制限を設けている。各ミニゲームは最大でも上下左右 + ボタン二つの六つまでのボタンしか使えないことになっている。また、一つのミニゲームは長くても一分程度で終了することになっている。少ない入力系に短い制限時間。その中に、各ミニゲーム製作者の思い思いのネタがぎっしり詰まっています。きっと。たぶん。おそらく。

## 背景とコトの始まり

ミニゲーム集を作ろうというネタが提案されたのは 2004 年の春のことだった。...と、思う。X680x0 同好会恒例の合宿<sup>3</sup>でミニゲームを作りまくらないかという話が浮かんでいた...ような記憶がある気がする。

企画は流れに流れた。特に、「ミニゲーム集」としてゲームを組み合わせるにはどうすればいいかが懸案だった。この問題に対し、私こと刻の咎人は製作中であつたゲーム制作サポートライブラリ abc を激しく改

<sup>1</sup>明らかに RealReality

<sup>2</sup>電気通信大学大学院情報システム学研究科情報ネットワーク学専攻一年

<sup>3</sup>例年は九月に行われるものが、都合により三月になったわけですが

造。ミニゲーム集を作るのに都合のよい構造にしてしまいましたとさ。めでたしめでたし。

かくして、X680x0 同好会 2004 年度合宿(九月上旬)において ProjectSilver 始動。調布祭での展示に向けて動き出しましたとさ。

## がんばったこと、くろうしたこと、ぎじゅつてきなこと

ProjectSilver の各ミニゲームは DLL である。ランチャープログラムが各 DLL を呼び出す構造になっている。これを実現するため、既に述べたように、当方のライブラリ abc に色々と手を加えてしまった。ライブラリアンの中の人<sup>刻の咎人の中の人</sup>は大変です。苦労しました。頑張りました。

abc に手を加えただけではなく、私自身はミニゲームの製作を投げて只管ランチャープログラムに拘りました。細かいところまで色々と手を入れています。この原稿を書いている時点でまだデバッグが済んでいません。マシンが壊れてソースコードが飛んだら大変ですね。正直言って本業が忙しいですが、ぎりぎりまで調整などを頑張ることになるでしょう。

## そして伝説へ

ミニゲーム集としてまとめる上で、各ゲームに何らかの統一感を持たせるべきか、全体として一つのゲームになるように本筋のシナリオを用意するべきか<sup>4</sup>など、色々と案は練られました。結果的にはそういった要素は徹底的に排除、駆逐され、今のようなシンプルなミニゲーム集となりました。シンプルではありますが、きっと楽しめる作品になってくれているでしょう。

ProjectSilver は調布祭を目標に進められてきましたが、私個人としては今後も続けていこうかななんて思っちゃったりしています。ひょっとしたら来年の調布祭あたりでもっともっとミニゲームの増えた ProjectSilver が展示されちゃったりするかもしれません。こんなところであまり無責任な宣言をすると痛い目にあいそうなので、これ以上は言いませんよ。

最後になりましたが、ProjectSilver の元ネタが「がんばれギンくん (Copyright 1995 TECMO)」だなんて、<sup>ろっば内部の人には言いきってあります</sup>外部の人には口が裂けても言えません。というか、この記事を読んでいる人の中に「ギンくん」を知っている人がいるのかが怪しい...

<sup>4</sup>要するにストーリーモードを用意するべきかという意味